

# 平成 2 7 年度 事業報告書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

平成 2 8 年 5 月 1 6 日

学校法人 金蘭千里学園

## 1. 法人の概要

単位：名

項目	高等学校	中学校	備考
設置する学校	金蘭千里高等学校	金蘭千里中学校	
入学定員	180	180	
在校生徒数	514	526	平成27年4月1日現在
教職員数	54	61	平成27年4月1日現在

## 2. 事業の概要

### ・当該年度の事業の概要

男女共学 1学級30人

#### 学習指導

##### カリキュラム

併設型中高一貫校としてのカリキュラムにより学習効率と効果の向上を図る。

英語・数学・国語を基礎科目として時間増を図るとともに、選択分野に偏らない学習により幅広い進路選択に対応する。

##### 20分テスト

通常授業を重視し、月～金曜日に成績評定を決する復習テストを実施し、成績状況を授業や個別指導にフィードバックさせ、学力の向上、定着を図る。

##### 特別授業

学力の補足、練成のために、夏季・冬季・春季に特別授業を行う。

#### 生活指導

担任中心の個人指導を徹底し、次代を担うに相応しい人間性を養う。

#### スポーツ

##### 校技

男子はサッカー、女子はバレーボールを校技と定め、6年間を通じ全員がその技量を高め、各クラスが校内大会で競う。

##### 他種目

校技に加え、学年によってテニス、バスケットボール、卓球、ハンドボール、バトミントン、男子バレーボール、女子サッカー、ゴルフを選択履修する。

#### 国際理解

##### 中1～高3

ネイティブ・スピーカーの教員による英語指導を行う。

##### 中3

民族学博物館を見学し、テーマ学習する。その成果を卒業レポートとして提出する。

##### 中2・中3・高2

外務省や国際機関、外国公館を通じ派遣された専門家による、国際事情の理解を深めるための講演会を開催する。

##### 高1

イギリス海外研修（イートン校・ハロウ校）＜希望者のみ＞

#### キャリア教育

中高6年間の発達段階に応じて生徒の個性と能力に応じた進路の開発に努める。

単なる大学進学指導に止まらず、外部講師による講演や職業体験などを通じ、将来の幅広い進路選択の一助とする。

#### 野外活動

##### キャンプ

各学年キャンプを行いアウトドア生活を楽しむ。

徒歩訓練

オリエンテーリング形式で東海自然歩道に行く。

情操教育

音楽鑑賞

国内外の一流のアーティストによる演奏を佐藤記念講堂で楽しむ。

合唱祭

中学生・高校一年生が運営企画するクラス対抗のコンクールを行う。

情報教育

eメール、インターネット等の基礎技術の修得や各教科学習の補助、情報処理モラルを涵養する。

部活動

生徒に多面的な負荷をかけ、「勉強を頑張るために、クラブ活動を頑張る」スタイルを確立し、多彩な活動ができる人材を育成する。

## ・当該年度の主な事業の計画・目的

体育館の整備

- ・金蘭会学園からの借用となっている体育館を自己所有とすべく、資産交換等を含めて取得時期の確定に向け、金蘭会学園との交渉をすすめる。

金蘭千里中学校・高等学校創立50周年を機とした改革の深度化

- ・平成26年度より推進している金蘭千里中学校・高等学校創立50周年を機とした改革は、1年間の進捗状況を踏まえつつ、さらなる深度化を図る。
- ・本校における教育活動の根幹である学習指導等に関し、プロジェクトチームが本校の課題についての辻本校長からの諮問に対し検討を進める。

金蘭千里中学校・高等学校創立50周年記念行事の実施

- ・本年4月に本校の創立50周年を迎えるにあたり、11月20日に記念式典を挙げるほか、金蘭千里高等学校の同窓会である尚友会や本校保護者会の協力のもと、記念寄付金の募集、その他の記念行事を執り行う。

## ・当該計画の進捗状況

体育館の整備

金蘭会学園による北グラウンド等の売却計画に関連し、体育館等の資産交換交渉が進捗せず、具体的な体育館取得時期を確定するには至っていない。引き続き交渉を進め、具体的な整備完了時期の確定をめざす。

金蘭千里中学校・高等学校創立50周年を機とした改革の深度化

- ・改革の深度化を図るとともに、次のような準備事項の実施、新規の取り組みを行った。
  - 平成27年度入学生より、新デザインの制服・制定品を導入した。
  - 第1回の高校2年生北海道自然研修旅行を実施した。
  - 中学入試においてインターネット出願を全面的に導入し、出願者の利便性向上を図った。延出願者数は1,156名(対前年95%)、実出願者人数は566名(対前年96%)と、昨年度の大幅増を受け今年度は微減となったものの、引き続き高い水準で推移した。
- ・プロジェクトチームにおいては、各担当で検討を進め、次のような取り組みを行った。
  - カリキュラムにおいては、長期休業期間中のコースのあり方を改め、通常授業を基本とする時間割に変更し、授業時間数の増加を図った。
  - 問題解決学習の取り組みとして、校外劇団とコラボレーションを行い、中学校1年の国語の授業として、演劇ワークショップを実施した。

ハードウェアにおいては、上記問題学習用スペース確保や、クラブ活動の増加に伴う体育関連施設の今後のあり方などの検討を進めた。その結果平成28年度事業として、光の広場へ開閉可能な間仕切りを設置することとした。また体育施設整備への準備段階として、体育教官室の進路指導室への移設を行うべく検討を進めることとした。

#### 金蘭千里中学校・高等学校創立50周年記念行事の実施

- ・平成27年11月20日に、本校在校生、教職員の出席に加え、ご来賓約200名を迎え、佐藤記念講堂において創立50周年記念式典を挙行、引き続き本校体育館において教職員とご来賓のご出席のもと祝賀会を開催した。
- ・本校の同窓会である尚友会から呼び掛けいただき、創立50周年記念寄付金の募集を行い、個人398名と2法人より、総額6,185,670円の寄付があった。

以上